男女共同参画情報紙

〈座間市シンボルマーク〉

令和３年
第 27 号　3/15

あくしゅ

《発行・編集》
座間市男女共同参画推進委員会
座間市市民部広聴人権課

〒252-8566
神奈川県座間市緑ケ丘一丁目１番１号
☎ 046（252）8087(直)
FAX 046（252）0220

2020 カジ イイ 男 IN ZAMA フォトコン結果発表

クメン　ダンイ

男女共同参画社会とは？

男女共同参画社会とは、「男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的および文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会」です。
（男女共同参画社会基本法第２条）

最優秀賞

ペンネーム　はるとっち
タイトル　パパデビュー

コメント　息子に初めてミルクをあげている姿です！
ぎこちないがパパを実感した瞬間です！

～審査委員のコメント～
パパ（イクメン）デビューの緊張感が伝わってきます。

最優秀受賞者のコメント

Q1. 受賞された感想は？
今年は突然のコロナ流行があり、妻の産院でも立ち合い出産がなくなり、面会制限があり、一生に一度しかない息子の一瞬にことごとく立ち会えなくなりました。しかし唯一初めてのミルクをあげることが出来たこの写真は一生の思い出となりました。
今回受賞できたことは、この写真と共にとても良い思い出となりました。
息子が大きくなったら、このことも含め、いろいろ話してあげたいです。

Q2. あなたにとって『イクメン』とは？
息子の誕生を通して、「イクメン」として育て、「イクメン」になれるよう日々育てられている関係です。家事・育児ができるだけが「イクメン」ではなく、毎日を家族みんなで楽しく一緒に過ごすことが良いイクメンの一歩だと思っています！！

イクメン部門賞

ペンネーム　ぽんきち
タイトル　旅先でも子供たちの背中をかく

コメント　久々の家族旅行。海をバックに、とうちゃーん！背中かいてー！と二人の子供に言われて両手が塞がるお父さん。

～審査委員のコメント～
後姿から仲の良さが伝わります。

イクジイ部門賞

ペンネーム　sou　タイトル　似たもの同士

コメント　ひおくんはじいじの小さい頃にとてもよく似てるそうです。じいじもそれが嬉しくて子育てに積極的に参加してくれます。

～審査委員のコメント～　２人の笑顔が最高！

カジ男部門賞

ペンネーム　さっちゃん
タイトル　ギョーザパーティー

コメント　料理が得意なパパは娘が年中の頃からギョーザ作りを教えて、今ではママ顔負けの腕前に！？
パパいつもありがとう(^^)

～審査委員のコメント～
手慣れた感じが伝わります。

イクメン・・・育児を楽しむお父さん
イクジイ・・・育児を楽しむおじいちゃん
カジ男（ダン）・・・家事に積極的に取り組む男性

多数のご応募ありがとうございました！

※コメントは応募者からのコメントを掲載しています。

「あくしゅ」バックナンバーで振り返る 男女共同参画のあゆみ（その２）

第20号（H26）
戦後の中等家庭科教育の歴史、高校生による座談会「自分らしい生き方とは？」・あくしゅフォーラム開催報告（講師：精神科医・立教大学教授　香山リカ氏）

第19号（H25）
男女共同参画とは・「第二次ざま男女共同参画プラン」策定からまもなく２年・配偶者、恋人からの暴力はＤＶです・輝け！日本の女子！・仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現に向けて

A4面・2色刷にリニューアル！

19号

フォトコン開始

21号

第21号（H27）
イイ男フォトコン結果発表・パートナーとのコミュニケーションについて・男女共同参画についての市民意識調査・あくしゅフォーラム開催報告（講師：ノンフィクション作家　吉永みち子氏）

第22号（H28）
イイ男フォトコン結果発表・市内シニア層のワーク・ライフ・バランスについて・シニア層へのアンケート「これからチャレンジしたいこと」とは？・あくしゅフォーラム開催報告（講師：料理研究家　コウケンテツ氏）

第23号（H29）
イイ男フォトコン結果発表・「座間のキラめきびと」市内の病院や保育園、消防署で働く方々にインタビュー・あくしゅフォーラム開催報告（講師：弁護士　菊地幸夫氏）

第24号（H30）
イイ男フォトコン結果発表・「座間のキラめきびと」市内の店舗、農家など３業種、３組をインタビュー・あくしゅフォーラム開催報告（講師：医師・エッセイスト　海原純子氏）

第25号（H31）
イイ男フォトコン結果発表・神奈川県内初「えるぼし」最高ランク取得企業「横浜銀行」紹介・あくしゅフォーラム開催報告（講師：ノンフィクション作家・自己尊重トレーナー　北村年子氏）

第26号（R2）
イイ男フォトコン結果発表・高校生にインタビュー（若い世代が感じている男女共同参画とは）・「あの時の高校生（20号参加者）は今…」インタビュー・あくしゅフォーラム開催報告（講師：東京大学大学院教授　瀬地山角氏）

今後も、座間市男女共同参画推進委員会では男女共同参画についての情報発信に努めます。

＼今後の「あくしゅ」もお楽しみに！／

座間市男女共同参画推進委員会 活動報告 令和２年度

『座間市男女共同参画推進委員会』会議
①７月２７日　②９月３日　③９月２８日
④１１月　５日　⑤１２月４日　⑥令和３年１月１８日
◆主な議題
男女共同参画情報紙「あくしゅ」記事について
「イ・イ・男フォトコンテスト」について　等

６月23日（火）～29日（月）
『男女共同参画週間』
市役所１階エレベーター前の特設啓発ブースで、男女共同参画の意識や考え方についてのチラシと啓発物品を配布

11月28日（土）～12月４日（金）
市役所１階アトリウム内において、フォトコン応募作品の掲示

１２月１６日（水）
市長表敬訪問

令和３年３月１５日（月）
情報紙「あくしゅ」の発行

～編集後記～

今年度のあくしゅは、いかがでしたでしょうか？今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、私たち座間市男女共同参画推進委員会の活動も制限されたため、インタビュー等を行うことができませんでした。そこで、第27号は創刊号から19年間の歩みと、市民意識の移り変わりについての特集を組み、コロナ禍でも、男女共同参画社会の実現に向けた情報発信を続けました。

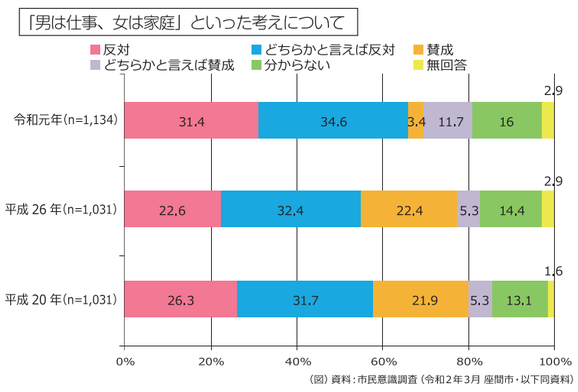
また、今年度は座間市に女性市長が誕生しました。

コロナの影響で〝握手〟がなかなか出来ない中、情報紙「あくしゅ」を通して、読者の皆様と〝あくしゅ〟できればと思います。

男女共同参画についての市民意識の移り変わり ～「男は仕事・女は家庭」といった考えについて～

近年、「女性活躍推進法」などの法整備や仕事と家庭の調和（ワーク・ライフ・バランス）への取り組みなど、男女共同参画社会の形成に向けて、環境は大きく変わってきました。

今回の「あくしゅ」では、過去３回の市民意識調査を元に、「男は仕事、女は家庭」（性別役割分担意識）がどのように変化しているのか、考えていきます。

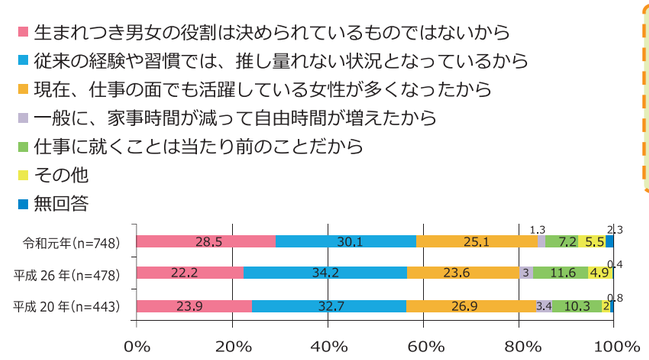


（図）資料：市民意識調査（令和２年３月 座間市・以下同資料）

右のグラフを見ると、令和元年に行った調査では平成26年と比べ「反対」「どちらかと言えば反対」を合わせると11％増加し、それに対し「賛成」「どちらかと言えば賛成」を合わせたものは12．６％減少し、「否定派」が増えています。

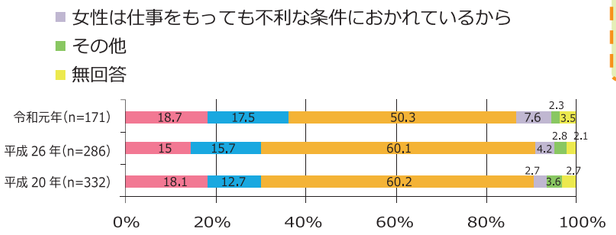
それでは反対する・賛成するの理由について、詳しく見てみましょう。

反対する理由



令和元年度の結果では、反対理由の中でも、特に「生まれつき男女の役割は決められているものではないから」が平成26年度から6．３％増えており、全体の３割を占めています。この結果は、それぞれがおかれている社会的要因というより、人としての生き方に着目する意識を持つ人が増えていることが伺えます。

賛成する理由



賛成する理由について特に目を引くのは、令和元年度の結果において「子供を育てるには、女性が家庭にいたほうが良いから」が過去２回と比較し約10．２％減少している点です。

また、「従来の経験や習慣から」・「女性は仕事をもっても不利な条件におかれているから」に着目すると、いずれも徐々に増加しています。これは、女性の就労率が増加したことにより、職場環境に対する不満も増えているのかもしれません。

右表は、平成20年から10年間の国内の主な経済などの動向をまとめたものです。こういった世の中の出来事と市民意識の移り変わりを結びつけて読み解くと、色々な発見ができそうです。

今回の特集はいかがでしたでしょうか。男女共同参画社会実現に向けて歩みを止めることなく進めるよう、今後も座間市男女共同参画推進委員会は啓発活動に取り組んでいきます。

※この内容は、令和元年度に実施した市民意識調査に基づき、作成しました。

国内の主な動向

H20	リーマンショック
H21	日経平均株価バブル後最安値に
H23	東日本大震災
H24	アベノミクス始動
H25	異次元の金融緩和 東京オリンピック招致決定
H26	消費税８％に引き上げ
H27	女性活躍推進法交付
R1	消費税 10％に引き上げ （軽減税率 8％）

「あくしゅ」バックナンバーで振り返る 男女共同参画のあゆみ

座間市男女共同参画推進委員会では、男女共同参画情報紙「あくしゅ」を発行し、啓発活動を行っています。「あくしゅ」では、男女共同参画に関する調査結果の考察、先進事例の紹介やインタビュー、啓発講座の開催レポートなど、多岐に渡る内容を取り上げてきました。

ここでは、これまでに発行した「あくしゅ」記事の見出しから、男女共同参画のあゆみを振り返ってみます。

創刊号（H13）
年２回発行していた「ひまわり通信」をリニューアル。座間市の未来を担う子どもたちに「男女共同参画」を考えるきっかけになってほしいと考え、座間市在住の小中高生にネーミングを募集。選考の結果、「なかよくなるため」と書いて応募された「あくしゅ」に決定！

創刊号

第2号（H14）
ジェンダーに関する用語解説・あくしゅキャラバン報告・男女共同参画社会基本法の解説・「あくしゅなまち」シリーズ（相模原市）

第3号（H14）
第１回あくしゅフォーラム開催報告（講師：一橋大学講師　村瀬幸浩氏）・パネルディスカッション・親子で楽しむオペラコンサート・「あくしゅなまち」シリーズ（綾瀬市）

第4号（H15）
特集「ドメスティック・バイオレンス」・ＤＶチェックリスト・「あくしゅなまち」シリーズ（千葉県我孫子市）

第5号（H15）
子どもの虐待・虐待の定義・虐待防止法の紹介・虐待への取組・相談窓口・「あくしゅなまち」シリーズ（東京都町田市）

第6号（H16）
特集「アニメ・ＣＭ　ここが変!?ジェンダーの視点からメディアを見てみよう」

第7号（H16）
「聞いてみました。男女共同参画社会」
市民３００名に聞いた、「男女共同参画計画に関するアンケート調査」の紹介と解説

第8号（H17）
「聞いてみました。男女共同参画社会Ⅱ」
※前号に続いての意見紹介

第9号（H17）
「ＤＶ相談始まる」
市で始めたＤＶ相談に合わせて、デートＤＶなどの意識調査テスト等を掲載

第10号（H18）
男女共同参画講座『「子育て」と「シニアライフ」をアドバイス』（講師：小児科医　毛利子来氏）

第11号（H18）
「男女共同参画週間・男女共同参画社会実現に向けて」
ざま男女共同参画プラン推進の取組

第12号（H19）
男女共同参画講座「人ごとではない、私たちの二〇〇七年問題～男らしさから自分らしさへ～」（講師：ジャーナリスト　山口正紀氏）・市内中学生との交流会を報告

第13号（H19）
仕事と生活の調和～ワーク・ライフ・バランス～持続可能な社会を目指して

第14号（H20）
男女共同参画講座
①「子どもたちに今何が起きているか～子どもたちが安全な交際をするために学ぼう～」（講師：アウェア代表　山口のり子）②「お母さんの可能性と自分再発見」（講師：トランタンネットワーク新聞社代表　藤本祐子氏）

年１回の発行
紙面が全４面に！

15号

第15号（H21）
男女共同参画講座
①「ワーク・ライフ・バランスを考える～自分の暮らしも親の介護も大切に～」（講師：ＮＰＯ法人パオッコ理事長　太田差恵子氏）・②「あなたにピッタリの仕事見つけませんか？」（講師：かながわ女性キャリア支援センター　三谷晃一氏）

第16号（H22）
ドメスティック・バイオレンスとは・改正育児介護休業法解説・平成20年度座間市民意識調査から
男女共同参画講座①「お母さんの可能性と自分再発見」（講師：マザーリング＆ファミリーナーシング研究所所長　たけながかずこ氏）②「子どもたちの今家庭と地域～大切なコミュニケーション～」（講師：教育アドバイザー　西野学氏）

第17号（H23）
「今、なぜ、イクメン？」イクメン座談会・男女共同参画講座「介護保険の現在（いま）と未来（あす）」（講師：ノンフィクション作家　沖島典子氏）

第18号（H24）
「女性消防隊頑張ってます！」・第二次ざま男女共同参画プランできました

４面に続くよ♪

バックナンバーの詳細はこちら♪